

「おとなりアーティスト」

アーティストを講師に招き、各学校等で児童・生徒対象のワークショップを開催する事業です。

招いたアーティストが学校に出向いて、児童・生徒と交流しながら創作活動を楽しみます。内容の詳細は、開催校の先生とアーティストが相談して決定します。ワークショップは授業のほか、部活動や課外活動等でも実施できます。詳しくは当館HPをご覧ください。

①佐藤忠博(彫刻家)ワークショップ 「何ともいえない形」



②FRIDAY SCREEN(アートユニット) ワークショップ 「毎日の色で染める ワークショップ ～もしもカレーがア ートになったら～」



●対象:福島県内の小・中・高等学校・
特別支援学校等

●開催日:9～11月(打ち合わせにて相談の上決定)

●開催場所:各開催校

●経費:ワークショップに係る材料費等は無料

●申込期間:7月1日(火)～7月18日(金)

●事前打合せ:福島県立美術館で8月上旬に打合せを
行う予定

●申込方法:ご希望のワークショップをお選び頂き、下
記の必要事項の内容とともにご連絡ください。

Tel 024-531-5511 Fax 024-531-0447

※当館HPよりFAX送信用紙をダウンロードできます。

●必要事項 ①ご担当者のお名前 ②学校名 ③学年
④参加人数 ⑤参加形態(クラス・部活動など) ⑥
連絡先(住所・電話番号) ⑦希望するワークショップ
名 お問合せ 福島県立美術館(学校連携共同ワークシ
ョップ係)

●その他 ※参加校作品展における生徒作品の美術館
への搬出入は開催校にご協力をお願いします。

※ご質問・ご要望がございましたら係にご相談ください。

開館スケジュール(○印=休館日)

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

利用案内

開館時間 9時30分～17時(最終入館は16時30分)

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館し、翌平日休館。ただし9月22日は除く)／祝祭日の翌日／年末年始(12月28日～1月4日)／展示替にともなう臨時休館(9月30日～10月17日)

観覧料 一般・大学生360円(20名以上の団体は280円)、高校生以下無料 ※企画展観覧料は展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。※企画展料金で常設展もご覧いただけます。
※こどもの日、県民の日(8/21)、敬老の日、文化の日は常設展が無料になります。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。(手帳をご

交通案内

〈JR福島駅・東口より〉

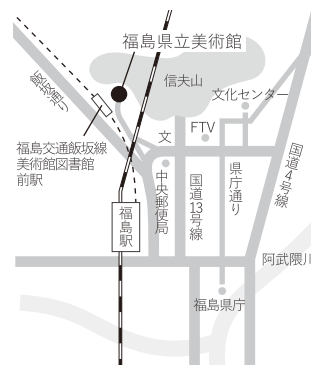
■電車 福島交通飯坂線「美術館
図書館前駅」下車徒歩2

■バス 9番乗場より福島交通バ
ス／市内循環もりん2
コース「県立美術館入口
」下車徒歩3分

■タクシー 約5分

〈自家用車の場合〉

東北自動車道・福島飯坂ICより市
街地方面へ約15分



福島県立美術館

〒960-8003

福島市森合字西養山1番地

TEL 024-531-5511

FAX 024-531-0447

<https://art-museum.fcs.ed.jp>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

MUSEUM NEWS

福島県立美術館

FUKUSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

開催中 企画展示

「金曜ロードショーとジブリ展」

2025年7月19日(土) - 9月28日(日)



開催中 企画展示

金曜ロードショーとジブリ展

2025年7月19日(土) - 9月28日(日)

新たなジブリ体験、始まります。

「金曜ロードショー」はこれまで200回以上にわたってスタジオジブリ作品を放送してきました。

その歴史はスタジオジブリが人気を確立し、作品の評価を不動のものとしていく足跡とともにあり、現在も続いています。番組の放送が始まった1985年は、スタジオジブリが“スタジオ開き”をした年であり、日本テレビが特別番組で「風の谷のナウシカ」を初放送した年です。

本展ではそんな1985年を起点に、スタジオジブリ作品の公開年、そして「金曜ロードショー」で初放送された年がどんな時代だったのかを振り返りながら、映画の魅力に迫ります。

昭和から平成、令和に至る世相を、各時代の記憶と記録を通じて浮かび上がらせていきます。

開館時間：9時30分～17時

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日、ただし9月22日(月)は開館）、9月24日(水)

観覧料：一般・大学生 1,800円／中学・高校生 1,500円／小学生 1,000円

※本展は「日時指定予約制」です。会場でのチケット販売は行いません。事前に日時指定チケットをご購入の上、ご来場ください。

※会場内の駐車場は、「おもいやり駐車場」のみです。一般の方は福島駅周辺の有料駐車場から公共交通機関を利用するなどしてご来場ください。



©Studio Ghibli

〈注意事項〉

※美術館の年間観覧券をお持ちの方は無料の日時指定券をご予約の上、入場時に年間観覧券をご提示ください(ただし、ご利用は本展会期中1回限り)。

※各種手帳(身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・ミライロID)をお持ちの方と付き添いの方1名は無料です。無料の日時指定券をご予約の上、入場時に手帳をご提示ください。

※未就学児は無料です。事前予約は不要ですが、必ず保護者の方と同伴でご入場ください。保護者の方は日時指定券をご購入ください。

◆チケット販売方法など、
本展の詳細については展覧会
公式サイトをご確認ください。



常設展示 福島県立美術館のコレクション

第Ⅱ期コレクション展

2025年7月19日(土) - 9月28日(日)

〈主な展示内容〉

●県美の名品展：ワイエス《松ぼっくり男爵》、佐藤玄々《山兔》ほか

●新収蔵・林康夫と現代陶芸：林康夫《浪江町の景》ほか



林 康夫《浪江町の景》2022-23年 当館蔵

次回開催予告 企画展示

生誕140年 竹久夢二のすべて 画家は詩人でデザイナー

2025年10月18日(土) - 12月14日(日)

メランコリックな表情を湛えた、しなやかで優美な女性像。可憐な少女や、愛くるしい子どもたち。描いたのは、大正ロマンを代表する画家、竹久夢二(1884-1934)です。「夢二式美人」と呼ばれる美人画で一世を風靡し、時代の寵児となった夢二は、絵画の世界にとどまらないその多彩な個性と才能で、今もなお高い人気を持ち続けています。



竹久夢二《長崎十二景 眼鏡橋》
1920年 福田美術館蔵（旧河村コレクション）

本展は、竹久夢二の生誕140年・没後90年を記念し、京都・嵐山にある福田美術館が所蔵する、実業家・河村幸次郎旧蔵のコレクションを12年ぶりにまとめて公開するものです。画家であり、詩人、デザイナーでもあった竹久夢二の「クリエイター」としての魅力に焦点を当て、夢二の人生を語るうえで鍵となる連作《長崎十二景》や《女十題》、そして《旅》、《青春譜》などの名作から、音楽とのコラボレーションが楽しいセノオ楽譜や中山晋平楽譜の表紙原画、その文才が発揮された小説や俳句に至るまで、夢二のすべてをご紹介します。

さらに福島会場だけの特別展示では、画業を通じて幾度となく本県を訪れた夢二の足跡を、福島ゆかりの作品とともに辿ります。

美人画家の粹におさまりきらない、夢二の新たな一面をご覧ください。

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

観覧料：一般・大学生 1,300 (1,200) 円／高校生 800 (700) 円
／小・中学生 500 (400) 円

※()内は前売および20名以上の団体料金

※ふくしま教育週間(11月1～7日、ただし4日は休館)は高校生以下無料

※前売券の販売は7月19日(土)から10月17日(金)まで

〔プレイガイド〕福島県立美術館、福島県庁消費組合、福島市役所売店、福島交通飯坂線(福島駅・桜水駅・飯坂温泉駅)、岩瀬書店全店、チケットぴあ、セブンチケット、福島民報社本社・郡山本社・支社支局・販売店